



令和4年度 クラウドファンディングによる  
横浜市民ギャラリー収蔵作品修復プロジェクト

～ 貴重なコレクションを

次代につなぐ～

Passing the art collection of Yokohama Civic Art Gallery  
to the future generation

# 実施報告書

横浜市民ギャラリー



左：柴田善登《山下公園の五月》1969年 油彩、キャンバス 60.0×80.0cm  
右：三橋兄弟治《教会の見える風景》1939年 水彩、紙 74.0×57.0cm

## 目次

- p.3 ごあいさつ
- p.4 プロジェクト実施概要
- p.5-6 修復報告1 三橋兄弟治《教会の見える風景》
- p.7 三橋兄弟治 関連取材レポート
- p.8-9 修復報告2 柴田善登《山下公園の五月》
- p.10 プロジェクト終了後の活動

## ごあいさつ

横浜市民ギャラリーでは、令和4年度に「クラウドファンディングによる横浜市民ギャラリー収蔵作品修復プロジェクト」を実施しました。対象となったのは、当館が所蔵するおよそ1,300点の作品のうち2点の修復です。クラウドファンディングによる資金獲得は、当施設を運営する公益財団法人横浜市芸術文化振興財団としても初の試みとなり、「横浜市民ギャラリー」という施設および、所蔵作品の認知度を上げることも目的としていました。おかげ様で5～6月の実施期間中、さまざまな方から目標としていた140万円を超えるご支援をいただき結果となり、いずれの作品も十分な修復が叶うとともに、美術品輸送専門会社による安全な輸送や、額から作品を取り出しておこなった調査で判明した必要な処置も追加で実施することができました。

改めまして皆さまのご理解、ご協力に心より御礼申し上げます。

横浜市民ギャラリーでは、今後も市民の貴重な財産であり、1960～90年代を中心に横浜の美術シーンを反映したコレクションの保存・活用につとめてまいります。

2023年3月  
横浜市民ギャラリー

## プロジェクト実施概要

### 令和4年度クラウドファンディングによる 横浜市民ギャラリー収蔵作品修復プロジェクト

実施期間：2022年5月9日～6月30日

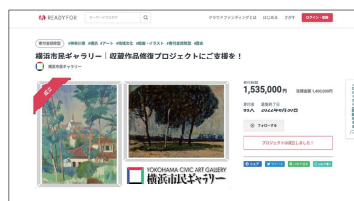
実施方法：クラウドファンディングサービス  
READYFOR ウェブサイト  
および公益財団法人横浜市芸術  
文化振興財団への直接寄附

目標金額：140万円

寄附金額：171万円（75件）

修復対象作品：三橋兄弟治《教会の見える風景》1939年  
柴田善登《山下公園の五月》1969年

修復実施期間：2022年7～12月



## 収支報告

### 収入

171万円

(内訳)

READYFOR 153万5千円

直接寄附 17万5千円

### 支出

171万円

(内訳)

作品修復費 97万2千円

作品輸送費 22万5千円

広告宣伝費 18万4千円

ギフト・報告書作成費用 3万4千円

システム利用料 28万7千円

雑費 3千円

消耗品費、その他 5千円

## 寄附者ご芳名

加藤力之輔 様

齋藤香坡 様

齋藤久嗣 様

伊勢山皇大神宮 様

絵具屋三吉 様

(寄附金額3万円以上の掲載希望者のみ。五十音順)

## 修復報告1 三橋兄弟治《教会の見える風景》

みつはしいとじ

1939年 水彩、紙 74.0×57.0cm



### 1 〈作品の移送〉

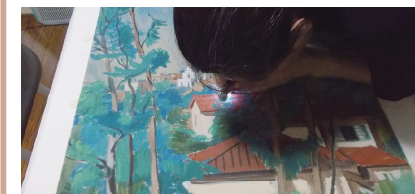
作品は修復工房に移送する前に、修復家と横浜市民ギャラリー学芸員の両者で点検しました。移送は美術品輸送専用車でおこないました。



作品点検

### 2 〈調査〉

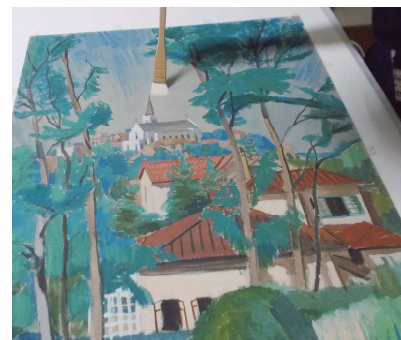
作品は工房到着後、修復の前に詳細な調査をしました。調査では本紙の折れ・波打ちや破れ、裏面のフォクシング（褐色の斑点）、絵具のはく落などがあることがわかりました。また、不要な紙片などの付着物がありました。



マイクロスコープを用いた調査

### 3 〈修復作業〉

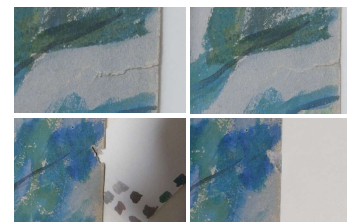
この作品は、ボール紙のようなやや厚手の紙に水彩絵具で描かれています。汚れの除去は柔らかい刷毛や繊維の細かいクロスを用いておこないました。



画面のドライクリーニング

その他以下の処置をおこないました（代表的なもの）。

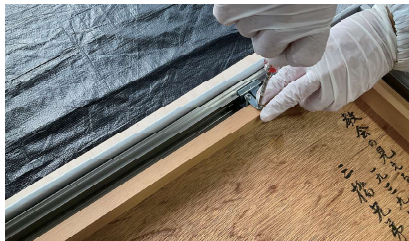
- ・破けた箇所接着
- ・欠損部の補填
- ・亀裂が生じている絵具層の固着強化、はく落止め
- ・折れた部分のフラットニング（伸展）処置
- ・付着物の除去



- 上段左：破れ接着前
- 上段右：破れ接着後
- 中段左：欠損した箇所を補填するための染色テスト
- 中段右：先に染めた紙を貼りつけ補填
- 左：絵具のはく落を止める作業

#### 4 〈再額装〉

修復した作品は保管や展示のために中性ボードのマットに固定し、クリーニングした額に入れました。



額の固定

#### トピックス Topics

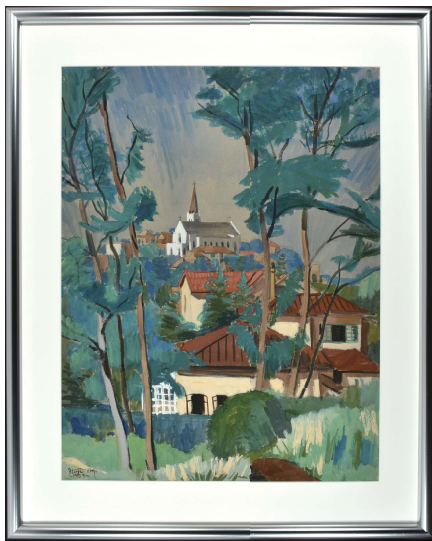
修復前の赤外線調査により、下書きの線が鮮明にうつし出されました。作家の試行錯誤が伺えます。



左：通常光  
右：赤外線調査で浮かび上がった下書きの線

#### 5 〈修復後の作品〉

亀裂やはく落、破れなど細かな部分が処置され、折れた箇所が目立たなくなりました。裏面を見ると、作品の波打ちや変形が軽減したことがよくわかります。



左：修復後の作品  
上段左：修復前の作品裏面  
上段右：修復後の作品裏面  
下段左：処置前全図

## 三橋兄弟治 関連取材レポート

2022年8月、当プロジェクトをご覧になった三橋兄弟治氏のお弟子さんで水彩画家の大原裕行氏よりご連絡をいただき、取材をさせていただきました。大原氏は三橋氏の作品や道具類を一部受け継ぎ、ご自宅で保管されています。



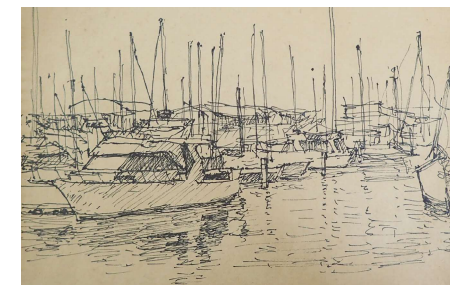
上段：大原氏のご自宅に飾られている三橋氏作品  
下段左：画材鞆の中身。三橋氏は国産の絵具を好んで使いました  
下段右：右手が画材店の画材鞆。左手が三橋氏が手作りしたもの

大原さんは10代の頃に展覧会で三橋氏の作品を眼にし、「このような絵を描きたい」と三橋氏の元を訪れ、その後お住まいの千葉から三橋氏のアトリエのある茅ヶ崎まで通って絵を見てもらったそうです。三橋氏の人柄については、「物静かだけど、絵に対しては厳しく妥協しない人だった」と語ってくださいました。当時、三橋氏の自宅には自作が何点も飾ってあり、その中に今回の修復対象作品《教会の見える風景》もあったそうです。

三橋氏はたいへん手先が器用で、老舗の画材店が販売していた携帯用の画材鞆をまねて、手作りで同様のものを作成して使っていたそうです。三橋氏はスペインなど海外に取材して制作することも多く、その際もこうした画材鞆を持ち歩き現地で写生しました。

小型のスケッチブックには、ペンや鉛筆で描かれた風景のスケッチが残っていました。

三橋氏の作品や技法が掲載された書籍や雑誌を参照しながら、三橋氏が独自に考案した濁筆描法（絵具にあまり水を加えず、紙にこするよう着色する描法）などについてもご説明いただき、たいへん有意義な時間となりました。

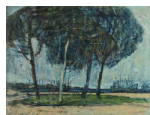


上：スケッチブックに残るスケッチ  
左：大原裕行氏  
1967年千葉県生まれ。1986年より三橋兄弟治氏に師事。  
2004年第2回千葉市文化新人賞他、出品・受賞多数

# 修復報告 2 柴田善登 《山下公園の五月》

しばた よしと

1969年 油彩、キャンバス 60.0×80.0cm



## 1 〈調査〉

画布（キャンバス）に油絵具で描かれたこちらの作品も、修復前に調査をおこないました。絵具層の細かな亀裂やはく落、画布の歪み、裏面の褐色斑点や破れなどがあることがわかりました。



赤外線撮影

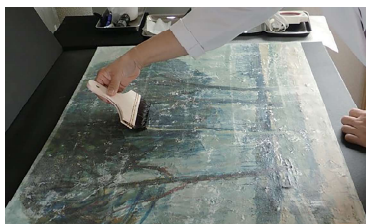
## 2 〈修復作業〉

画面・裏面とも刷毛や溶剤などで丁寧に汚れを取り除き、絵具の亀裂・はく落を慎重に接着しました。



絵具層の接着

絵具層の接着後、この後の処置のため和紙を画面に貼って保護しました（表打ち）。



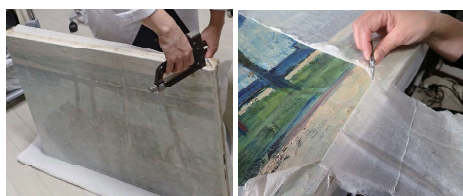
和紙を画面に表打ち

画布を木枠から取外し、ストレッチして裏面から接着強化剤を塗りました。その後、ホットテーブルで加熱して圧をかけ、平らにしました。



左：接着強化剤を裏面に塗布  
右：ホットテーブルで圧をかける

新しい木枠を加工して作品を張り、表打ちの和紙を除去しました。その後、画面の欠損部分の充填・補彩をおこないました。



左：新しい木枠に作品を張る  
右：表打ちの和紙を除去

## 3 〈再額装〉

額もクリーニングして欠損部の充填や補彩をし、木枠を固定する金具も保存に適したものに交換しました。



額の欠損部の充填、補彩

### トピックス Topics

この作品は横向きに描かれていますが、赤外線撮影により縦向きに木の枝のようなものが描かれていたこと、ニスが不均一に塗られていることがわかりました。

赤外線撮影した作品の部分

## 4 〈修復後の作品〉

修復後は汚れが除去されて、色彩が蘇りました。額にはアクリル製の裏板も取り付けられ、より安全に保管・展示できるようになりました。



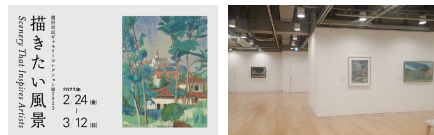
上段左：処置前の額裏  
上段右：処置後の額裏  
下段左：処置全図

左：処置後の作品

## プロジェクト終了後の活動

### 〈対象作品の展示〉

「横浜市民ギャラリーコレクション展 描きたい風景」(2023年2月24日～3月12日)会場内にて、修復後の作品を展示・お披露目しました。また、同会場内にて修復報告パネルおよび報告動画を掲出・上映しました。

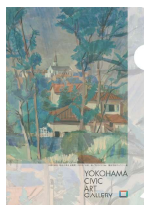


左：柴田作品、中：三橋作品

### 〈ギフト〉

#### ◎クリアファイルの作成

本プロジェクトで修復した2点のうち、三橋兄弟治《教会の見える風景》を用いたオリジナルクリアファイル(A5サイズ)を作成し、対象者のうちご希望の方にお渡ししました。



#### ◎特別ツアーの開催

対象者のうちご希望の方に向けて、以下のイベントを開催しました。

- ・支援者向けコレクション展作品鑑賞ツアー  
2023年3月5日(日) 14:00～14:40
- ・支援者向け横浜市民ギャラリーバックヤードツアー  
2023年3月5日(日) 14:45～15:20



#### ◎ご芳名の掲載

本報告書、および「横浜市民ギャラリーコレクション展 2023 描きたい風景」(2023年2月24日～3月12日)会場内パネルに、ご希望の方のお名前を掲載しました。なお、公益財団法人横浜市芸術文化振興財団のホームページに掲載する、令和4年度事業報告書および寄附者のご芳名一覧(共に2023年6月末以降掲載予定)にもご希望の方のお名前を掲載の予定です。

### 〈報告〉

#### ◎報告書の作成

本報告書を作成し、ご支援いただいた皆様に送付しました。



#### ◎報告動画の作成

対象作品の修復について動画を作成し、ウェブで公開するとともに、「横浜市民ギャラリーコレクション展 2023 描きたい風景」(2023年2月24日～3月12日)会場内で上映しました。



## 謝辞

このプロジェクトを実施するにあたり、多大なご協力をいただきました次の個人、関係機関に深く感謝申し上げます。(敬称略)

天野太郎  
大原裕行  
加藤孝之  
蔵屋美香  
猿渡紀代子  
月本寿彦  
永峯千尋

茅ヶ崎美術家協会  
茅ヶ崎市美術館  
横浜 Jazz 協会  
横浜美術館

## 令和4年度クラウドファンディングによる 横浜市民ギャラリー収蔵作品修復プロジェクト報告書

担当：横浜市民ギャラリー 齋藤里紗 河上祐子  
修復写真・情報提供：株式会社シー・アール・エス 上野淑美 田川奈美子  
報告書デザイン、報告動画制作：伊藤浩平  
チラシ・Web パナーデザイン：藤田治

編集・発行：横浜市民ギャラリー(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団/西田装美株式会社 共同事業体)  
〒220-0031 横浜市西区宮崎町 26-1  
TEL:045-315-2828 FAX:045-315-3033  
<https://ycag.yafjp.org/>  
©Yokohama Civic Art Gallery 2023



YOKOHAMA CIVIC ART GALLERY

横浜市民ギャラリー